

常任委員会 だより



総務常任委員会

総務常任委員会に付託された案件は議案15件陳情1件、継続審査中の陳情1件で計17件である。

■仙北市特別職、教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する一部を改する。

平成18年5月から特別職の給与を減額支給しているが、更に減額期間を平成22年3月31日まで延長するものである。

問 財政が逼迫しているのなら、期末手当も改正すべきでないか。議員は期末手当まで減額している。

答 18年時点からあくまでも給料的な面を減ずること、手当までは関与をしない形で進めてきており、今回もこの様な形にしたものである。

平成21年度仙北市一般会計予算

歳入 市税関係について 問 駐車場使用料等、軒並み減になっている。原因は観光客の減になったとの説明だが、何としても観光客をふやす事と、歳入の増を図ることが必要と思うが。

答 昨年は地震などで観光客減となっていると思う。第一の原因は景気低迷と考えている。市全体で観光客を招くという、意識を持った上で取り組み、各団体が人任せでなくネットワークを使いながら工夫し、早期に回復できる体制づくりを積極的に進めたい。

総務、民生費県補助金について

問 生活バス路線維持費

補助金が昨年と比較してどうなっているのか。

答 県補助は、経営損失額の1/8

で残り5/8が市負担2/8は会社の負担となる。昨

年まで観光路線補助だった田沢湖角館線、田沢湖一周線が、今年度生活

路線に変更したことによって増えている。

問 電源立地、地域対策交付金は水力発電所に関連づけた周辺整備等目的に使われているが、今この様に観光客が落ちてる状況で、観光客が増えるよう使おうべきと思うが。

答 合併前は水路の改良、施設の改良に割り振りされていた。その後一市町村一事業に、国の方針が定まり、田沢湖で保育所の人件費に充当し

たこともあり、角館分もあわせて充当されている。



「がんばってます」生活バス路線

る。又観光振興等にも当てることも出来る。

歳出 企画、交通政策費について

問 板橋のアンテナショップの最近の現状と見通しはどうなっているのか。

答 昨年4月から参加し、全国9市町村で、合同で物販をしている。4月〜1月まで、延べ603品目、全額として生産者から納入した物が70万円、7月10月のイベント直売合わせ約

100万円売り上げている。

問 内陸線前で、聞いた市長の考えと議案質疑の答弁で、認識が違っているのではないか。

答 国の制度を最大限活用しながら、乗車運動も同時にやり、残すことに向けての色々な施策をしている。結果がなかなか見えてこないが、姿勢としてはそういう方向で努力している。「スタンスは変わっていない。」

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について(第45号)

問 この計画は昨年3月、総合整備計画で20年度から2年間の計画である。工事はどれぐらい進んでいるか。

答 20年度は事業実施できず、21年度着手することになる。計画路線を延長するも

ので、1000mから2000mに、事業費が1,200万円から2,090万に変更となる。(県道広久内角館停車場)

陳情

◎地積調査錯誤の修正方について(継続中)
◎賛成多数で、採択と決定した。

継続

◎日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求める要請について

◎さらに調査が必要なため、継続審査と決定した。



収入増になるか駐車場